



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

1. 化学品及び会社情報

1.1. 製品名称

製品の名称

ニュートラクリーン (Neutra Clean)

1.2. 会社情報

会社名 (輸入販売)

三洋ライフマテリアル株式会社

住所

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル8階

電話番号

03-3518-2151/fax 03-3518-2152

製造元

ComStar International Inc.

住所

20-47 128th St. College Point, NY 11356 USA

電話番号

1-718-445-7900, 800-328-0142/fax 718-353-5998

1.3. 推奨用途及び使用上の制限

液体洗浄剤

2. 危険有害性の要約

2.1. 化学物質または混合物のGHS分類

H319 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 強い眼刺激 区分2A

2.2. GHSラベル要素

セクション11および12に列挙された毒性データを使用して、生成物は、以下のように標識されます。



警告

危険有害性情報

H227: 可燃性液体 区分4

H319: 強い眼刺激 区分2A

[予防]:

P210: 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P261: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

[反応]:



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

P370+P378 火災の場合: 消火するために砂、二酸化炭素または粉末消火器を使用すること。

[保管方法]:

P403: 換気の良い場所で保管すること。

[廃棄]:

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

成分/化学物質の指定	重量%	GHS分類	注意
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル CAS番号: 34590-94-8 化審法番号: 2-426、7-97	>10.0	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B	
界面活性剤 CAS番号68648-81-7 化審法番号: 3-1907、 2-131	<10.0	区分外	
消泡剤 CAS番号: 160875-66-1 化審法番号: 7-97	<1.0	区分外	
グルコン酸ナトリウム CAS番号: 527-07-1 化審法番号: 2-1410	<5.0	区分外	
炭酸ナトリウム CAS番号: 497-19-8 化審法番号: 1-164	<1.0	区分外	
水	>70.0	区分外	

§ 1910.1200の Paragraph(i)に従って、組成物の特定の化学的同一性および/または正確なパーセンテージ(濃度)は、企業秘密として非公開とされています。

4. 応急措置

4.1. 応急措置

一般的な措置

応急措置をする人は、自身も守る必要があります。
事故や異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。
安全データシートを医師に見せてください。

吸入した場合

意識がない場合、決して口からものを与えないこと。
空気の新鮮な場所に移し、患者の体を温めて、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行うこと。

眼に入った場合

意識がない場合は、回復体位にして、直ちに医師の診断を受けること。経口摂取を避けること。
きれいな水で少なくとも15分間は注意深く洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

皮膚に付着した場合	汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。皮膚を石鹼と水で十分に洗うか、または適した洗剤を使用して良く洗うこと。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けること。安静に保ち、無理に吐かせないこと。

4.2. 最も重要な症状および効果(急性および遅発性)

概要	刺激作用、頭痛、めまい、刺激性、麻酔効果
吸入	吸入すると有害。

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、泡消火剤、乾燥消火粉末、二酸化炭素(CO₂)

不適切

ウォータージェット

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

可燃性です。蒸気は空気と爆発性混合気体を生成することがあります。

危険な燃焼性製品

火災の場合、一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO₂)が遊離することがあります。

5.3. 消火を行う者への勧告

溶媒蒸気は空気より重く、床に沿って広がる可能性があります。適切な距離から注意して消火すること。自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急事態時

作業の際は、適切な保護具を着用すること。(セクション8参照)

皮膚、眼への接触を避けること。蒸気/スプレーを吸入しないこと。発火源の回避。十分な換気を行なうこと。

6.2. 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。爆発性。

6.3. 回収、中和等の処置

流出物の封じ込め方法に関する助言

排水溝の覆い。

流出物の浄化方法に関する助言

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。関連法規ならびに地方自治体の基準に従い、適切な容器に入れて廃棄すること。

6.4. 他のセクションへの言及

有害燃焼生成物: セクション5参照 個人用保護具: セクション8参照
不適合材料: セクション10参照 廃棄上の注意: セクション13参照



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

十分な換気を行うこと。使用しないときは、容器を密閉し、直射日光を避けること。

火災防止対策として、エアロゾル・粉塵の発生を抑える

発火源から遠ざける-喫煙しないこと。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

一般的な衛生管理: 使用後には必ず手を洗うこと。

7.2. 混触危険性等、安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気要件

局所および一般的な換気を使用すること。

推奨保管温度: 15 - 25 °C

8. ばく露防止及び保護措置

8.1. 制御パラメータ

曝露

CAS番号	成分	情報源	値
34590-94-8	ジプロピレングリコール モノメチルエーテル	OSHA ACGIH NIOSH サプライヤー	100 ppm 150 ppm 確立された制限なし 確立された制限なし
527-07-1	グルコン酸ナトリウム	OSHA ACGIH NIOSH サプライヤー	確立された制限なし 確立された制限なし 確立された制限なし 確立された制限なし
497-19-8	炭酸ナトリウム	OSHA ACGIH NIOSH サプライヤー	2mg/m ³ 2mg/m ³ 確立された制限なし 確立された制限なし

発がん性データ

CAS番号	成分	情報源	値
-------	----	-----	---



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

34590-94-8	ジブロピレングリコール モノメチルエーテル	OSHA NTP IARC	発がん性物質: なし 既知: なし 疑わしい: なし グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;
527-07-1	グルコン酸ナトリウム	OSHA NTP IARC	発がん性物質: なし 既知: なし 疑わしい: なし グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;
497-19-8	炭酸ナトリウム	OSHA NTP IARC	発がん性物質: なし 既知: なし 疑わしい: なし グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;

職業ばく露限界値(職場ばく露限界)

国	成分	CAS No	識別子	TWA	TWA (mg/m ³)	STEL (ppm)	STEL (mg/m ³)	天井C (ppm)	Ceiling C (mg/m ³)	情報源
				(ppm)						
AU	ジブロピレングリコール モノメチルエーテル	34590-94-8	WES	50	308					WES

表記法

天井値-C 天井値は、それを超えると曝露が起こらないはずの限界値です

STEL 短時間暴露限界: 曝露が起こらないはずの限界値で、15 分間(特に指定のない限り)に関するもの

TWA時間加重平均(長期曝露限界): 8時間の時間加重平均(特に明記しない限り)の基準期間との関係で測定または算出

関連するDNELs/DMELs/PNECs及び他の閾値レベル

ヒトの健康値

エンドポイント	閾値レベル	保護目標、曝露経路	使用先	露光時間
DNEL	308 mg/m ³	ヒト、吸入	作業員	慢性-全身作用
DNEL	283 mg/kg bw/day	ヒト、皮膚	作業員	慢性-全身作用

環境値

エンドポイント	閾値レベル	環境区画
PNEC	19mg/L	淡水
PNEC	19mg/L	海水
PNEC	4,168 mg/L	下水処理施設
PNEC	70.2mg/kg	淡水堆積物
PNEC	7.02mg/kg	海底堆積物
PNEC	2.74mg/kg	土壌

8.2. 曝露管理

呼吸器

適切な保護マスクを着用すること。



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

眼の保護具	適切な保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
皮膚/手の保護具	適切な保護衣/保護手袋を着用すること。
管理	漏れ出して環境への放出を防ぐため、排水溝、地面、地下水から離しておくこと。
衛生対策:	取扱い後は、良く手を洗うこと。衣服が汚れた場合はすぐに脱いで、良く洗ってから再使用すること。
詳細はセクション2-[予防]をご参照ください:	

9. 物理的及び化学的性質

外観	液体
色	緑色
臭気	わずかな臭気
臭気閾値	未測定
pH	6 -7 (水: 200g /l, 20 °C)
融点/凝固点	-83°C 1013hPa
初留点と沸点範囲	190°C 1013hPa
引火点	なし
蒸発速度(エーテル=1)	未測定
可燃性(固体、気体)	関連無し(液体)
上限/下限、引火または爆発限界	爆発下限界:1.1vol% 爆発上限界: 14 vol%
粉じん雲の爆発限界	該当なし
蒸気圧(Pa)	25 °Cで0.36 mmHg
密度	0.94~0.96 g/cm ³ 20°C
蒸気密度	5.11 (空気=1)
比重	> 2 (H ₂ O = 1)
かさ密度	該当なし
比重	データ入手不可
水への溶解度	25°Cで~1g/L
分配係数	
n-オクタノール/水(log Kow)	0.004 (25 °C)(ECHA)
自然発火温度	207 °C(1013 mbar) - ECHA
分解温度	未測定
粘度(cSt)	
動粘度	3.82 mm ² /s 25°C
動的粘度	3.7 mPa s 25 °C
爆発性	爆発物には分類されません
酸化性	なし
揮発分(重量%)	NA
オクタノール/水分配係数	NA

9.2. その他の情報



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

その他の関連情報はありません。

10. 安定性及び反応性

10.1. 反応性

加熱した場合：蒸気は空気と爆発性混合物を生成することがあります。

10.2. 化学的安定性

空気に触れた場合、反応。

10.3. 危険有害反応可能性

激しい反応：強酸化剤

10.4. 避けるべき条件

入手データなし。

10.5. 混触危険物質

入手データなし。

10.6. 危険有害な分解生成物

過酸化物。

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性とは分類されません。

曝露経路	エンドポイント	値	種類	情報源
経口	LD50	>5,000 mg/kg	ラット	ECHA
皮膚	LD50	9,510 mg/kg	ウサギ	ECHA

皮膚腐食性/刺激性

皮膚に対する腐食性/刺激性は分類されません。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

重篤な眼刺激を引き起こします。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器感作性物質または皮膚感作性物質には分類されません。

CMR特性の評価の概要

生殖細胞変異原性、発がん性及び生殖毒性に分類されません。

特定標的臓器毒性-単回曝露

特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)に分類されません。

特定標的臓器毒性-反復曝露

特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)として分類されません。

誤えん有害性

誤えん有害性を示すものとして分類されません。

物理的、化学的、毒性学的特性に関連する症状



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

飲み込んだ場合: データなし。目に入った場合: 刺激性有り。吸引した場合: 頭痛、めまい。皮膚に付着した場合: 本質的には刺激はありません。

その他の有害作用: 麻酔

12. 環境影響情報

12.1. 毒性

本製品に関する追加情報はありませぬ。化学物質固有のデータについてはセクション3を参照。

水生毒性(急性)

エンドポイント	値	種類	情報源	露光時間
LC50	>1,000 mg/l	魚類	ECHA	96 h
LC50	1,919 mg/l	水生無脊椎動物	ECHA	48 h
ErC50	>969 mg/l	藻類	ECHA	72 h
EC50	>969 mg/l	藻類	ECHA	72 h

水生毒性(慢性)

エンドポイント	値	種類	情報源	露光時間
LC50	>1,000 mg/l	水生無脊椎動物	ECHA	24 h
NOEC	≥0.5 mg/l	水生無脊椎動物	ECHA	22 d
LOEC	0.5mg/L	水生無脊椎動物	ECHA	22 d
成長(EbCx)10%	4,168 mg/l	微生物	ECHA	18 h

12.2. 分解性のプロセス

本物質は容易に生分解されます。

理論的酸素要求量: 2.051mg/mg

理論的二酸化炭素: 2.079mg/mg

生化学的酸素要求量: 20時間で650mg/g

プロセス	分解速度	時間
生物的/非生物的	96 %	28 d
酸素欠乏	75 %	10 d
DOC除去	96 %	28 d
二酸化炭素発生	76 %	28 d

12.3 生物蓄積性

生物中にあまり蓄積しません。

n-オクタノール/水 (log KOW) 0.004 (25°C)

12.4 土壌中の移動性

データなし。

12.5 PBTおよびvPvB評価の試験結果

データなし。

12.6 他の有害作用



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

データなし。

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

	DOT (国内陸上輸送)	IMO / IMDG (海上輸送)	ICAO/IATA
14.1. 国連番号	該当なし	規制なし	規制なし
14.2. 国連品名	規制なし	規制なし	規制なし
14.3. 輸送時の危険性クラス	DOT危険有害性クラス: 該当なし	IMDG: 該当なし サブクラス: 該当なし	Airクラス: 該当なし
14.4. 包装等級	該当なし	該当なし	該当なし
14.5. 環境有害性 IMDG	海洋汚染物質: 無		
14.6. 使用者のための特別予防措置	追加情報なし		

15. 適用法令

労働安全衛生法	ジプロピレングリコールモノメチルエーテル CAS番号: 34590-94-8 化審法番号: 2-426 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3) 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質
海洋汚染防止法	ジプロピレングリコールモノメチルエーテル CAS番号: 34590-94-8 化審法番号: 2-426 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
化審法	消泡剤 CAS番号: 160875-66-1 化審法番号: 7-97 優先評価化学物質 整理番号 188
消防法	非該当



安全データシート

Neutra Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

16. その他の情報

責任の限定について

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本SDSの改訂版を受領した場合は、旧SDSを廃棄下さるようお願いします。